

熊本市東ブロック活動報告（概要）

ブロック各施設代表者でブロック会議を開催し、ブロック主体で研修会等を企画・実施、個々の研鑽の機会や相互の交流の機会から、地域での職能集団の組織力強化に努めている。

（主な事業）

- ・ブロック内会議：年4回開催
- ・ブロック企画研修会：年2回開催（地域包括ケアシステム関連/MTDLP関連）
- ・熊本市民健康フェスティバルへの参画 ・現職者共通研修事例検討報告会
- ・MTDLP事例報告会 ・生き生き体操普及検証活動

具体的事業内容

●熊本市民健康フェスティバルへの参画 【士会実行委員長担当】

熊本市・熊本市保健協議会・熊本県医師会・熊本市医師会・熊本市保健医療専門団体連合会・熊本日日新聞社の計6団体が協働で行う、自身や家族の健康について目を向け考えて頂く市民向けのイベントです。当士会も、熊本市5ブロックより実行委員を選出して取り組んでいます。例年、作業療法部門と多職種で連携して行う在宅部門の2ブースを設置し、認知症についての説明や簡易的なテスト、予防方法の体験としての物作り(しおり作り)や自助具の紹介等を行い、一般市民の方々に対し作業療法の啓発に繋げる取組みを行っています。平成元年から毎年開催されていましたが、平成28年の熊本地震以降は開催を見送られていました。平成30年度は開催の運びとなり、東ブロックが実行委員長を担当し実施しました。

当日(10月21日)は、各ブロック3名ずつの動員と委員らも含め計23名で参加しました。来場者の方々は、自身の物忘れが酷くなってきたからと心配されて来られる方や、家族が認知症と診断されてこれからどのようにしたら良いか困っている方、お子さんやお孫さんを連れてしおり作りをされる方等様々で、作業療法部門だけでも約230人の方々と有意義な時間を共有することが出来ました。

今年度は認知症をテーマに、多くの方に作業療法や認知症に興味を持って頂く良い機会になったかと思えます。地域の皆さまとお話することが出来た上で、我々作業療法士が取り組むべき課題は多く、地域の皆様に貢献していく重要性を強く感じる事が出来ました。来年度も、またその先も、作業療法を必要とされている皆様の為に、このようなイベントを通じ、微力ながら一つずつでも多く貢献出来るよう、各ブロックで連携を図り取り組んで行ければと思います。

健康フェスティバル実行委員長（村上雅裕）



●ブロック研修会開催(MTDLP実践のコツ)(地域ケア会議入門)

ブロック内会議で検討を行い、担当を中心に年2回、ブロック主催での研修会を企画・実施しています。今興味・必要があるテーマを考え、相互交流や個人・ブロックの発展に繋がればと思っています。今年度は、MTDLPと地域包括ケアシステムに焦点を当てて企画しました。他ブロックからの参加もあり、毎回とても充実した会になっています。今後も企画の際は案内を行いますので、他ブロックの会員の皆さまのご参加も大歓迎です。

ブロック基礎教育担当（松本明人）

【今後の展開】

継続して地域での職能集団の組織力強化に努める

地域包括ケアシステムに即したブロックの活動（地域ケア会議参加／士会体操の普及）
東ブロック主導での県作業療法学会開催（令和2年3月8日）／研修会・事例報告会開催

